

科目名 **体育**

普通科・理数科必修
1年次・普通科3単位 理数科2単位

- 目標
- ① 運動の合理的、計画的な実践ができるようにする。
 - ② 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につけさせる。
 - ③ 健康の保持増進のための実践力を育成する。
 - ④ 体力の向上を図らせる。
 - ⑤ 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

位置づけ 各種運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。

■使用する教材

現代高等学校保健体育（大修館書店）

■学習する単元とおおよその時期

- ・体づくり運動、体力テスト 【4月】
- ・陸上競技、バレーボール 【5～8月】
- ・器械体操（マット運動）※ 【9～11月】
- ・バスケットボール 【9～11月】
- ・柔道、創作ダンス 【11～12月】
- ・基礎スキー 【1～2月】
- ・体育理論、選択体育 【3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

3年間を見通して幅広く各種の運動を経験し、生涯スポーツにつながるよう取り組ませる。

一斉授業を実施し、各種運動に対して、自己の能力や興味、関心を高めることを考えて進める。各種目の最後に実技テストを行う。

※普通科のみ実施

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 運動の学び方や体力の高め方、ルールなどに関する基礎的な事項を多角的に理解できる。	自己およびグループの課題解決を目指して活動の仕方を考え工夫できる。 健康と安全について、課題を見つけ解決できる。	自ら進んで計画的に運動を行うことができる。 公正・協力・責任などの態度を身につけた行動ができる。
	B 運動の学び方や体力の高め方、ルールなどに関する基礎的な事項を概ね理解できる。	自己およびグループの課題解決を目指して活動の仕方を考え概ね工夫できる。 健康と安全について、課題を見つけ概ね解決できる。	自ら進んで計画的に運動を行うことが概ねできる。 公正・協力・責任などの態度を身につけた行動が概ねできる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。

■単元テスト予定表

単元テスト	種目	実施予定	単元テスト	種目	実施予定
1・2	陸上競技/バレーボール	6月/8月	6	基礎スキー	2月
3・4	器械運動/バスケットボール	9月/10月	7	体育理論	3月
5	創作ダンス・柔道	12月			